

12月29日 お餅つき

12月29日は、東円寺の「お餅つき」の日です。今年も賑やかに恒例のお餅つきが行われました。お餅はハレの日に神様に捧げる神聖な食べ物といわれています。お寺でも神様や仏様への御供え餅をたくさん作りました。檀家の皆様の一年間の苦を祓い、新しい年が無病息災であるように、力強く祈りを込めて毎年お餅をついています。



「お餅つき」は力仕事です。男の人達にたくさん、頑張ってもらいました。



この日は毎年、参加する子供たちの成長を感じる事のできる行事でもあります。来年も楽しみです。



今年は参拝に来られた方に、温かい「おすいとん」と「甘酒」をふるまいました。お寺の物を食べると一年間風邪をひかないといわれています。



年が明けて、仏様に参拝する方、おみくじをひく方で賑わいました。新しい年が良い年でありますように・・・。

大晦日 ～除夜の鐘～

12月31日から元旦にかけて、たくさんの方が除夜の鐘を撞きに来られました。

仏教では、人には108の煩惱（ぼんのう）があるといわれています。その煩惱を祓う為に除夜の鐘を撞く回数は108回とされています。煩惱（ぼんのう）とは人の心を惑わせたり、悩ませ苦しめたりする心の働きのことを言います。除夜の鐘を撞くことで、古い年の煩惱を祓い、新たな気持ちで一年を出発する事が出来ます。